

日常診療を変えるエビデンスを皆様へ。

日頃より「今日の臨床サポート」をご愛顧いただき、ありがとうございます。

2024年4月に改訂された臨床レビューの中から、日常診療に大きく影響を与えるようなエビデンスをご紹介します。

<p>発達障害 (自閉スペクトラム症・ADHD)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年に発表された『注意欠如・多動症－ADHD－の診断・治療ガイドライン第5版』では、ADHD治療薬4剤の使用を含む本邦における治療指針が明確化された。また、自閉スペクトラム症を含む併存障害を有するADHDの治療指針も含まれている。これに基づきアルゴリズム「注意欠如・多動症（ADHD）の薬物療法の適応」と「ADHD（6～18歳）における薬物療法の基本フロー」を追加した。詳細は臨床レビューを参照されたい。 ・ADHDと自閉スペクトラム症の併存例では、どちらの特性が前景に立つかを評価し、自閉スペクトラム症の易刺激性が前景である場合にはアリピプラゾールやリスペリドンを使用する。その他の併存症については、一次性併存症か二次性併存症かを見極め、一次性併存症であれば、精神疾患の治療から、二次性併存症であれば、不安や抑うつが重篤な場合を除いてADHDの治療から開始する。チック症の併存例では、中枢神経刺激薬が禁忌である。 ・関連する臨床レビュー：注意欠如多動症（attention deficit/hyperactivity disorder、ADHD）（小児科）も同ガイドラインに基づき大幅な書き直しを行った。本人または養育者への心理社会的治療を追記し、薬物治療について詳細に解説している。
<p>心因性非てんかん発作 (PNES)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報に基づいてコンテンツを見直し、改訂を行った。 ・PNESを単一徴候で診断することは依然として困難であり、機械学習やAIを用いた患者の異質性を考慮した診断や、複数徴候をスコアリングする診断方法が試みられている。また、PNESの早期死亡リスクは高く、社会経済的地位が低いこと、精神的・身体的合併症が多いこと、自殺率が高いことなどの関連が指摘されている（Vijay M, et al. Curr Opin Neurol. 2024 Apr 1;37(2):121-126.）。
<p>習慣流産、不育症</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『産婦人科診療ガイドライン産科編／婦人科外来編2023』および以下の不育症（習慣流産）ガイドラインの発行に伴いレビューを行った。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ Recurrent Miscarriage Green-top Guideline No. 17. 2023 ▶ Recurrent Pregnancy Loss – Guideline of the European Society of Human Reproduction and Embryology. 2022 ・既往流産歴がある女性が新たに流産した場合、胎児・絨毛の染色体検査を行なうことが望ましい。 ・現在の日本の定義では生化学的妊娠は流産回数に含まないが、European Society of Human Reproduction and Embryology (ESHRE)では2017年のガイドラインから流産回数に含めるようになった。 ・染色体異常がない場合は、次回妊娠に備えて不育症原因精査を行う。 ・最近米国とヨーロッパのリウマチ学会から抗リン脂質抗体症候群の新しい分類基準が提唱されが（Barbhaiya M, et al. Arthritis Rheumatol. 2023 Oct;75(10):1687-1702）、今後、不育症診療や産科診療でこの分類基準を用いるかどうかは不確定であり、産科的抗リン脂質抗体症候群の新たな基準を策定する必要があるかもしれない。

『今日の臨床サポート』とは

エビデンスに基づく日本語によるリファレンスツールです。約1,430の疾患・症状概要、診断・治療方針などをご覧になることができます。ジェネリックを含む薬剤情報、疾患・症状の患者向け説明資料、インターネット版ではPubMedへのリンクもご用意しています。

QRコードまたはURLからアクセスできます。イントラ版をご契約の施設では、院内端末からログインなしでご覧になることができます。



<https://clinicalsup.jp/jpoc/>

ログインには、①ユーザー名、②パスワード、③施設コードが必要です。管理者の方にご確認ください。

最新エビデンスをタイムリーに受け取れます。ご登録はこちらから。

